

平成30年9月3日

嘉麻市長 赤間幸弘様

嘉麻市行政経営推進審議会
会長 山崎克明

個別施設見直し計画について（答申）

平成30年7月2日付けで貴職から諮問のあった標記の件について、本審議会において慎重に審議を行った結果に基づき、下記のとおり答申いたします。

記

本審議会では、諮問を受けた公共施設等の見直しに関する事項について、現地調査を行い、また、必要に応じて関係資料の提出等を求めながら、計6回にわたり、慎重かつ積極的に審議を行ったところです。

その結果、「個別見直し計画（案）」については、公共施設見直し計画（平成30年1月30日行政経営推進本部決定）の内容を踏まえ、施設の統廃合・廃止などの見直しの方向性が具体化されるなど、本計画（案）は妥当な内容であると評価するものです。

本来、公共施設のあり方については、市民の健康増進、高齢者福祉の向上、地域コミュニティの活性化など、市の総合的なまちづくりのあり方を踏まえて検討すべきもので、本審議会においても、そのような観点からの意見も出されたところです。

しかしながら、人口減少の進行、公共施設の老朽化と耐震性の問題、公共施設の設置数が他団体と比較して著しく多い状況、迫りつつある公共施設見直しに係る有利な財源の活用期限など、嘉麻市の特異な状況を踏まえ、喫緊に解決すべき課題であることと、将来の財政負担の軽減を図ることの必要性などを共通認識として、結論を導いたものです。

については、本答申を十分留意いただき、本計画（案）をさらに効率的・効果的に推進していくため、適切に対応することを求めるとともに、トップの強いリーダーシップのもとに、取り組まれることを強く要請します。

また、本計画（案）の推進に当たって留意すべき点として、別紙のとおり付帯意見を取りまとめましたので、留意いただきますようお願いいたします。

別 紙

審議会付帯意見

■ 学校施設整備基本計画及び公民館基本計画との関連について

学校施設については、学校施設整備基本計画の改訂により、小中一体型校舎の整備が今後の方向性として示されています。

また、地域コミュニティの拠点である公民館の今後の方向性について、公民館基本計画が定められています。

については、本計画（案）の推進とともに、学校施設及び公民館施設のあり方にも十分に留意いただくことを意見といたします。

具体的には、これらの施設整備の具体化を検討するに当たり、市全体の施設の配置面・運用面などの効率化を図るため、学校の体育館及び図書館の一般開放や、地域コミュニティの拠点機能を学校に併設するなど、施設の複合化と本計画（案）の見直しによる補完措置を念頭に入れた検討を行っていただくことを、強く要望いたします。

■ 交通体系の充実について

公共施設の見直しの進捗と、今後見込まれる高齢化の進行に伴い、施設までの交通手段が課題になることが想定されます。

現在、市の公共交通体系の見直しについては、平成32年度を目指として、利便性の高い交通網とすべく、鋭意、取り組まれていると認識しています。

については、今後の交通体系網の構築に当たり、本計画（案）の内容も含めた、市全体の公共施設の配置計画等を、十分留意いただくことを要望いたします。